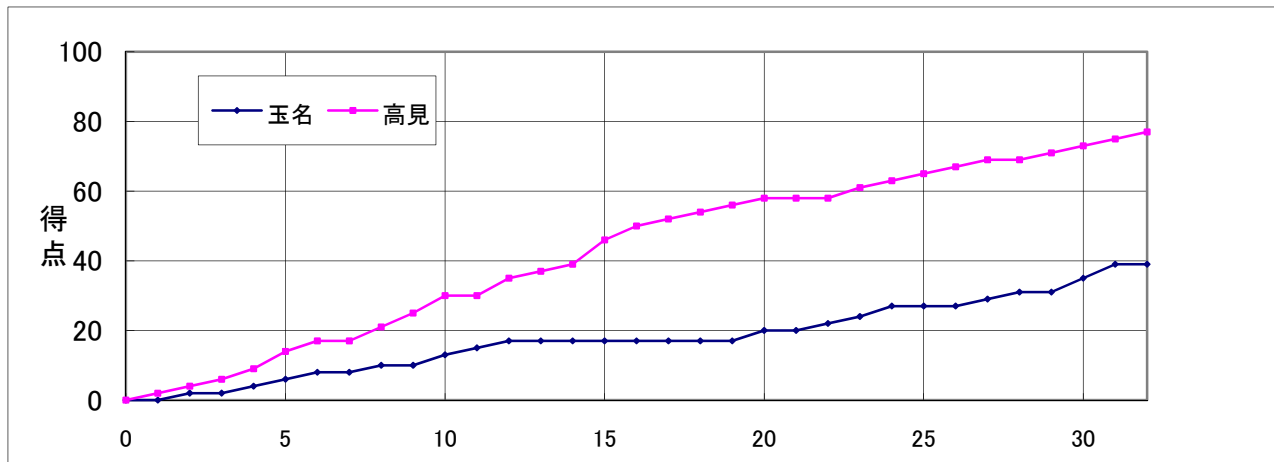


大会名	平成22年度 九州中学校体育大会 第40回九州中学校バスケットボール競技大会	D5	15:20	女子2回戦																
	期日	2010年(平成22年)8月6日(金)	玉名 39 (熊本1位) ●	<table border="1"> <tr><td>10</td><td>-</td><td>21</td></tr> <tr><td>7</td><td>-</td><td>29</td></tr> <tr><td>10</td><td>-</td><td>13</td></tr> <tr><td>12</td><td>-</td><td>14</td></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table>	10	-	21	7	-	29	10	-	13	12	-	14	-	-	-	77 高見 ○ (福岡1位)
					10	-	21													
7	-	29																		
10	-	13																		
12	-	14																		
-	-	-																		
会場	大分市コンパルホール																			

主審 福岡 敏徳 副審 江原 直樹



タイム・アウト(経過時間)

1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
05:50	14:14	21:22	28:20
—	—	—	—

玉名

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 馬場 奈央子 (C)	8	1	2	1	5
5	西川 すみれ	0	0	0	0	0
6	前田 雪葉	5	1	1	0	1
7	* 上田 祐季	9	1	3	0	5
8	* 中尾 小春	4	0	2	0	2
9	藤木 友香	0	0	0	0	1
10	* 川本 雅	2	0	1	0	0
11	大森 彩未	0	0	0	0	1
12	* 森川 美波	7	1	2	0	0
13	山口 萌夏水	-	-	-	-	-
14	浦嶋 映里	4	0	2	0	0
15	吉川 杏奈	-	-	-	-	-
16	太田 結日	-	-	-	-	-
17	小山 里紗子	-	-	-	-	-
18	上原 千晶	-	-	-	-	-
コーチ	杉本 三郎	/	/	/	/	/
合計		39	4	13	1	15

タイム・アウト(経過時間)

1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
—	—	—	—
—	—	—	—

高見

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	高橋 幸奈	0	0	0	0	1
5	* 水上 千聖	15	4	1	1	2
6	栗原 沙妃女	0	0	0	0	0
7	二ノ宮 可南	2	0	1	0	0
8	* 荒川 沙笑子	6	0	3	0	4
9	二見 捺央	-	-	-	-	-
10	* 萩尾 千尋	28	0	13	2	0
11	中尾 イダリア	2	0	1	0	0
12	栗原 颯生	0	0	0	0	0
13	藤井 園子	0	0	0	0	1
14	* 森田 菜奈枝 (C)	18	0	6	6	2
15	永野 倫后	0	0	0	0	0
16	* 有田 かな	6	0	3	0	3
17	森 彩乃	-	-	-	-	-
18	脇 梨奈乃	-	-	-	-	-
コーチ	山崎 修	/	/	/	/	/
合計		77	4	28	9	13

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...アシスト

戦評

女子2回戦、春の九州大会準決勝戦のカード。
 1Qは、高見#10萩尾のミドルシュートにより先制する。玉名と高見の両チームともオールコートマンツーマンプレスでお互いに激しくディフェンスし、一進一退の攻防が続く。高見は#14森田のドライブ、#5水上の3Pで突き放しにかかるが、玉名は#12森川や#9藤木のロングシュートで粘る。玉名10-高見21。
 2Q、高見#10萩尾の連続得点で流れを掴もうとするが、玉名は#4馬場の3Pや#7上田のロングシュートで応戦する。その後、高見は#10萩尾のロングシュートやリバウンド、#5水上の3P、#14森田のドライブで着々と加点し、点差を広げていく。たまたま残り1分41秒で玉名はタイムアウトを取るが、流れを変えることができない。17-50で前半を折り返す。
 3Qになり、高見はさらにプレスのあたりを厳しくする。玉名は、#7上田と#12森川の3Pや、#8中尾のコーナーからのジャンプシュートで追い上げようとするが、点差は縮まらず、27-63で3Q終了。
 4Qに入り、玉名は速い展開でシュートまでもちこみ反撃をしようとするが、なかなか決まらず点差を縮めることができない。また、玉名は1-2-1-1のゾーンプレスを仕掛けるが、高見は#14森田の冷静なボール捌きで、突破する。残り3分を切ったところで、40点差が開き高見はスタートメンバーを交代する。点差は開いたが両チームともに死力を尽くし、見ごたえのある試合だった。玉名39-高見77で試合終了。

© 2010 Yuzo Kosaka All Rights Reserved Vol.0063

記者 橋本, 用松 (所属) 大分県バスケットボール協会